

KANKOU TAKASAKI

観光たかさき

2014
SUMMER 夏号
VOL.127

山と溪流 倉淵を巡る

涼を求めて、からすがわ烏川源流域へ

高崎の観光再発見

歴史あるローカル私鉄で富岡製糸場へ



涼を求めて、烏川源流域へ

からすがわ

―祈りと癒しの山里・倉淵―

標高1,500m前後の山々や溪流が美しい風景を織りなす烏川源流域。倉淵はどこにいても涼しげなせせらぎの音が聞こえてきます。だれもが思い描ける故郷の原風景のような山里で、日常や酷暑から開放され、川遊びや釣り、山歩きにキャンプなど、アウトドアを存分に楽しむではいかがでしょう。

また倉淵は、かつて中山道の脇道として栄えた信州街道沿いに114体もの道祖神がのどかな風景に溶け込む「道祖神の里」であり、日本の近代化の礎を築き「明治の父」と讃えられた小栗上野介に溶け込む「道祖神の里」であり、日本の近代化の礎を築き「明治の父」と讃えられた小栗上野介忠順の終焉の地でもあります。いにしえの人々の想いや祈りが伝わってくる歴史的情緒も魅力です。

山あいで取れる新鮮な山菜や野菜、マスの塩焼、素朴な郷土料理などに舌鼓を打ち、ゆっくり温泉につかって、母の懷に抱かれたような和みのひと時を過ごしませんか。

■集客と地域活性の核となる新スポット

これまで、高崎市街から草津や北軽井沢へ向かう道として利用されることの多かった倉淵地域でしたが、この春倉淵支所に隣接して道の駅『くらぶち小栗の里』がオープンしたのをきっかけに、ここを目的地として訪れる人が増えたといえます。

新鮮野菜や加工品、酒類、手芸品など特産品の販売店舗、地元のお母さんたちが倉淵産の食材を使った料理を提供する『おもてなし処小栗』。発表会などができる多目的ホールや24時間利用できる休憩コーナーなど、人々が足を止め、憩い、地元の旬の味覚を味わい、買い物を楽しむ姿があります。

「オープン以来、多くのお客様にご来店いただき驚きとともに



レンゲショウマ
8月頃から倉淵の鼻曲山で群生も観られる

感謝をしています。農家の人たちも新たな販路を得てやりがいを感じているようです。この食事処でも、地元の新鮮な食材を使った手づくりメニューを喜んでくださるお客様に元気をいただいています」と『おもてなし処小栗』の代表者・原田カズ子さん(写真前列右)はハツラツとした笑顔を見せます。店内のテーブ

良質な水が豊富で朝晩の寒暖差のある倉洲の野菜は甘みが違います。“はざ掛け”で天日干した「はんでえ米」。高崎で唯一の蔵元「牧野酒造」の銘酒“大盃”にもご注目。



道の駅『くらぶち小栗の里』
住所：高崎市倉洲町三ノ倉（国道406号沿い）
TEL：027-384-8282
営業時間：9時～22時（販売店舗は19時）
食堂は10時～19時



倉洲産トマトとニンジンたっぷりのヘルシーな「こだわりトマトカレー」(750円)
黒豆の煮汁にクエン酸を加えてできたほんのり桜色、かすかな酸味が爽やかで夏にぴったりの「黒豆ソフトクリーム」(300円)

ルには庭に咲いた季節の花を飾り、郷土料理のおきりこみやマトカレー、黒豆ソフトなど、働きの者のお母さんたちがアイデアをしぼり真心を込めておもてなしする、人情味たっぷり倉洲らしさの詰まった新スポットです。

小栗の無念と、倉洲の先祖たちの狭義心を伝える

国道406号線の信号「倉洲郵便局前」を左折すると水沼橋の手前右側に石碑があります。「小栗上野介顕彰慰霊碑」で、罪なくして此所に斬らるゝの文字が刻まれています。

小栗上野介忠順は江戸幕府の旗本に生まれ、若くして文武の才が認められ活躍しました。遣米使節として米国、そして世界一周の旅から帰国すると、外国、勘定、江戸町、歩兵、陸軍、軍艦、海軍などの各奉行を歴任。米国での見聞を基に、横須賀製鉄所（後に造船所）の建設をはじめ、仏式軍隊の導入、郵便制度、鉄道、新聞発行を提唱するなど、日本の近代化を先導しました。「日本政府の近代化政策は、小栗忠順の模倣に過ぎない」と大隈重信が後年評したほどでした。1867年に大政奉還がなされると、小栗は新政府軍への徹底抗戦を主張しましたが徳川慶信に受け入れられず罷免され、領地だった上



小栗上野介顕彰慰霊碑

野国権田村（現倉洲町権田）の東善寺に移り住みました。水路の整備を手がけたり、人材育成のための学習塾の構想をねつたりと、静かに暮らしていました。が、農兵の訓練や武器の保有などを疑われ、西軍の命を受けた高崎藩・安中藩・吉井藩の兵士にとらえられ、1868年（慶応4年）に取り調べもなく烏川の水沼河原で3人の家臣とともに斬首されました。

命を賭して遺族を守ろうとした先祖たちの意志を風化させたくないという村人たちは考えたのでした。こうした当時の村人たちの狭義心は今もこの里の人たちの誇りになっています。

406号線を北上し「権田」の信号の手前右手には、小栗父子が眠る東善寺があります。東善寺は小栗家五代政信公を中興開基とする曹洞宗のお寺。上野介一家はこの寺に二ヶ月あまり仮住まいして、近くの観音山に住居建設を進めました。遺品館には上野介の遺品など多くの史料が収められ、激動の時代に成した偉業を知ることができます。



宗教法人 曹洞宗東善寺
住所：高崎市倉洲町権田169
TEL：027-378-2230
遺品館入場料 100円





■ 村人たちの祈りが込められた
道祖神を巡る

倉淵地域は道祖神の宝庫です。77カ所、114基という数のもとより、寛永年間の県内最古の双体道祖神（1625年）や元禄期の「元禄びな」といわれる坐像、二神が肩を組んだり抱擁したり多様な形が出現する宝暦から天保期にいたる全盛期の道祖神、明治・大正に作られたものなど時代分布が広いのも特徴。県内最古のものもあります。

倉淵地域はかつて中山道の脇道として草津や鳩の湯、川などの利用客や北信濃の大名の参勤交代などに利用され栄えました。峠や集落の境界にあつて、悪霊邪気の侵入を防ぎ、五穀豊穡、子孫繁栄をもたらす「塞ぎの神」、道を守り旅人の安全を守る神として道祖神信仰が根づいてきたといえます。

道祖神を巡るマップが倉淵支所や道の駅などで手に入りません。風景に同化したようにたたく道祖神を巡りながら、山里の風情を楽しむのも一興です。

■ キャンプや登山、
濃密な自然を満喫する

「権田」の信号から県道54号線（長野原倉淵線）で北軽井沢方面に向かうと、深い緑の山々の間を分け入るように道は続き、烏川はせせらぎの音を響かせながら渓谷を流れます。濃密な緑が続く中、左側に『わらび平森林公園キャンプ場』の看板が現れ、そこを右折。つづら折りの山道を3キロほど上っていくと視界が開けたところにキャンプ場が広がっています。手前にレストランを兼ねた管理棟、囲いの中でのんびりと過ごす数頭の山羊や丸々と肥えた羊のジャックが愛らしい姿を見せてくれます。標高1,126mの高原に開けたキャンプ場の見晴台からは日光白根・榛名山連山が望めます。右手の方にはその形状から角落山（標高1,393m）と呼ばれる倉淵の山が見え、山頂の角落神社は武術や学業、開運などの神として信仰されてきたといえます。

キャンプ内には、ログハウス



キャンプ場からの眺望



◀角落山

風のバンガローやオートキャンプエリアがあり、キャンプに必要な用具や設備も充実しています。また、日帰りでもバーベキューや釣りを楽しみたいという人にも対応しています。バーベキューセットは数日前の予約で、食材から用意してもらうことが可能です。

高崎市街地が30度以上の真夏日でも、キャンプ場はうそのような清々しさ。季節によってカタクリ、シラネアオイ、アツモリ草、シモツケ草など、山地在り草、シモツケ草などを、山を好む可憐な花々を目にすることができるとこのキャンプ場の魅力です。

また、ここまできたら「高倉山登山」にも挑戦したいところ。

C O L U M N

“烏川渓谷鉄道”の駅弁『ます重弁当』

烏川のほとりにあり、釣り堀を併設し、釣ったマスを料理してくれる満寿池。サクッと歯ごたえと、柔らかな身がほんのり甘いタレと絡み合った蒲焼『ます重』が看板メニューです。現役を退いた電車2両は“烏川渓谷鉄道”と呼ばれる飲食スペースで、車窓から烏川の景色を眺めながら、駅弁『ます重弁当』を広げれば、もう列車の旅気分。

また、塩焼、フライ、刺身、から揚げ、かば焼き風など、バリエーション豊かなニジマス料理、山菜天ぶらの盛り合わせ、自家製手打ち麺のうどんやそばなど、倉淵ならではの山や川の幸を味わえます。素朴な古民家風の店内も雰囲気があります。



▲ます重定食 1,050円
(他にます重弁当 840円)

■ 満寿池

住所：高崎市倉淵町権田 12-1
TEL：027-378-2034
営業時間：11時～日没（釣り堀 9時～）
定休日：金曜日

▶高倉山登山道入口



桃太郎ピザ



アツモリ草



■わらび平森林公園キャンプ場

住所：高崎市倉渕町川浦高芝地内 TEL：027-378-3761
開設期間：4月下旬～10月下旬 <http://www5.wind.ne.jp/warabi/>

キャンプ場から山頂まで700m、片道30～40分程度の手軽な登山コースで、林間学校で訪れる小学生たちが体験しています。登山道の傾斜は少々急で息が上りますが、頂上からの眺望を楽しみ、駆け上ってくる鳥川からの冷風に身をさらしながら感じる爽快感や達成感は格別です。登山の後は、管理棟にある素敵な名称のレストラン「雲上の食卓」でひと休み。浅間隠山山の湧き水で入れたコーヒード喉を潤し、倉渕産桃太郎トマトを素材にしたピザソースが決め手の「桃太郎ピザ」はトマト感たっぷりでお勧めです。

■ロマンチックな山荘を拠点に
思いきり羽を伸ばす

わらび平森林公園キャンプ場を下り県道54号線に出て北軽井沢方面に進むと、まっすぐ伸びた杉の木立の中に「はまゆう山荘」の駐車場が現れます。北欧のシャトーを思わせる瀟洒なたたずまいの「はまゆう山荘」は、横須賀市が市制80周年記念事業として建設し、平成17年10月に倉渕に移譲したものです。横須賀製鉄所の建設にかかわった小栗上野介の縁で、昭和56年に横須賀市と当時の倉渕村は友好都市の提携を結びました。その後倉渕村が高崎市と合併したことで、友好都市関係はなくなりましたが、交流は今も続いています。天然温泉倉渕川浦温泉もあり、日帰りや宿泊ができる施設として、多くの人々に憩いのひとときを提供しています。黄金色で疲れた身体をゆったり癒し、肌がモチモチツヤツヤになると評判の「美肌の湯」に浸かり、鳥川上流で捕れる岩魚や椎茸、舞茸など倉渕の恵みをふん



■はまゆう山荘

住所：高崎市倉渕町川浦 27-80
TEL：027-378-2333
<http://www.hamayu.org/>



だんに用いた料理や、横須賀製鉄所にちなんだ名物「横須賀海軍カレー」、倉渕川浦産完熟桃太郎トマトを100%使用した「桃太郎ソフトクリーム」などをいただければ、心も体もエネルギー満タンです。

■童心に帰って遊べる
水辺のスポット

倉渕には溪流遊びに最適なスポットが点在します。はまゆう山荘駐車場の向かいの小道を5分ほど入ったところには、昭和26年に建設された「鳥川上流砂防堰堤」があり、流れ落ちる滝

と自然石の間を流れる川が見事な景観を作り、絶好の親水エリアになっています。さらに滝の上の「広鈴河原」は浅瀬で水の流れも緩慢、幼いお子様連れでも安心です。

もう一つお勧めなのが、相間川流域の「泉が渕」です。良好な泉質で知られる「相間川温泉」と同じ源泉の「倉渕福祉センターせせらぎの湯」の駐車場のすぐ側にあり、付近には、県内最大級94・5mのループ式ローラーライダーが設備されている「せせらぎ公園」もあります。小さいお子さんに外遊びをさせたいけれど暑さが心配というご家族も、充分楽しめるお勧めのスポットです。



泉が渕



鳥川上流砂防堰堤



◀せせらぎ公園

第40回 高崎まつり

「伝統継承 つながりが織りなす 魅せるまつり」

8/2・3
(土) (日)

《大花火大会》2日(土)
午後7時40分～8時30分



●第40回を迎える高崎まつり

夏の風物詩「高崎まつり」が、本年も8月2日(土)、3日(日)の2日間にわたり盛大に開催されます。もてなし広場や中心市街地において、神輿渡御や阿波踊り、迫力満点の山車巡行や和太鼓などの伝統芸能が行われます。例年楽しまれている創作だるまみこしやこども広場なども例年同様に開催されます。



2014年のワッペン

●高崎まつりの花火大会は北関東最大級!

約15,000発の花火がテンポ良く1時間弱で一気に打ち上げられ、高崎のアツい夜空を彩ります。特に、いくつもの花火を組み合わせで連続的に打ち上げるスターメインは華々しい演出になっています。無料観覧場所も拡大しましたので、夜空から降りそそぐ大きな花火をみなさまで楽しんでください。

第12回 高崎山車まつり

第40回高崎まつりを盛大に盛り上げるため、輪番の東・南地区に加え、中央地区からも特別出場し、総勢23町内の山車が勢揃いします。駅前通りで出発式を行った後、田町通りを連なって山車巡行します。その姿は、豪華絢爛で山車まつりを象徴する光景のひとつです。巡行後、山車は再びもてなし広場に集結。夕暮れ時、提灯に灯りが点ると、昼間とは違った幻想的な山車まつりに変貌を遂げます。

●お問い合わせ：高崎まつり実行委員会事務局（高崎市商工観光部観光課内 TEL.027-321-1257）

市内の祭り・花火大会情報 2014

7/26
(土)

よしい祇園まつり

●吉井文化会館周辺「けやき広場」（上信電鉄吉井駅から徒歩5分）
午前10時30分～午後9時

●お問い合わせ：吉井支所産業課 TEL.027-387-3134



7/27
(日)

第34回箕郷ふるさと夏祭り

●ふれあい公園 【祭り】午前10時～ 【花火】午後7時30分～

●お問い合わせ：箕郷支所産業課 TEL.027-371-9065

8/1
(金)

榛名の祭り花火大会

●榛名湖畔（榛名湖町）午後7時30分～午後9時

●お問い合わせ：榛名支所産業観光課 TEL.027-374-5111

8/10
(日)

第35回ぐんま「はにわの里」夏まつり

●【まつり】市民活動センター（ソシアス）午前10時～午後3時30分

●【花火】上毛野はにわの里公園 午後7時30分～午後8時15分

●お問い合わせ：ぐんま「はにわの里」まつり実行委員会事務局（群馬支所産業課）
TEL.027-373-2447

8/15
(金)

榛名ふるさとまつり商工祭花火大会

●烏川公園 午後7時30分～

●お問い合わせ：榛名支所産業観光課 TEL.027-374-5111

8/16
(土)

新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」「ふれあい盆踊り大会」

●烏川総合グラウンド・温井川河畔
※荒天の場合、花火大会・灯籠流しは翌17日に順延

●お問い合わせ：新町支所地域振興課
TEL.0274-42-1234

8/23
(土)

くらぶちの夏祭り

●倉渕支所前駐車場

●お問い合わせ：倉渕支所地域振興課
TEL.027-378-3111



第18回高崎観音山万灯会 まんどうえ

●03

8/23
(土)午後5時～9時30分
観音山一帯にて開催

今年で第18回を迎える高崎観音山万灯会は、観音山全体を会場にした厳かで美しい夏の終わりを告げる一大ローソク祭りです。周遊コースが15,000個の灯明と1,500基の灯籠に照らし出され幽玄な灯りの回廊と化します。

高崎観音や清水寺の観音さまに日頃の報恩の思いを込めて灯明を奉納していただき、各所でのイベントを楽しみながら晩夏の観音山パワースポット巡りができます。また、今年も聖石橋から石段までの観音通りにも灯明を並べ古刹清水寺への導線を明確にしていく予定です。

駐車スペースがきわめて限られていますし、そもそも歩くのが主体のお祭りですので、できるだけぐりん臨時バス等の公共交通機関をご利用の上、徒歩にて石段よりお詣りしていただくのがおすすめコースとなっています。

●お問い合わせ：第18回高崎観音山万灯会実行委員会
TEL.027-322-2269 (慈眼院内)

メルヘンと遊びの世界展18 みる・ふれる・あそぶ

EVENT

●04

9/6～15
(土) (月・祝)

展示会・映画上映：入場無料



●展示会：9月6日(土)～15日(月・祝)
午前10時～午後5時

●高崎シティギャラリー 第3・4・5・6展示室
(群馬県高崎市高松町35-1)

*期間中の9月6日(土)・7日(日)にはアフタフ・バーバンによる公演があります。

●バリアフリー映画上映：9月7日(日)

●高崎シティギャラリー コアホール

目が不自由な方のための副音声ガイド(セリフ以外の映像の状況・情景等を説明するナレーション)付き、耳の不自由な方のための日本語字幕付き上映を行います。*会場全体に副音声ガイドが流れます。(※上映作品「39 窃盗団」)

●お問い合わせ 高崎市文化課 TEL.027-321-1203

「遊ぶことを通して育む生きる力」をコンセプトに開催する展示会。今年のテーマは「みる・ふれる・あそぶ」です。五感をフルに活用した遊びのワークショップや体験型ミニステージの紹介、手で触れながら鑑賞できるアート作品やバリアフリー絵本の展示を行います。また視聴覚障がいのある方も一緒に楽しめるバリアフリー映画上映会も開催します。

主催：高崎市

NPO 法人高崎こども劇場

NPO 法人時をつむぐ会

NPO 法人たかさきコミュニティシネマ

INFORMATION

「開運たかさき食堂」が商標登録に！

●05



当協会が特許庁に申請していた「開運たかさき食堂」が平成26年3月28日付で商標登録されました。

生産量全国一の「縁起だるま」やパワースポットとして人気の「白衣大観音」、「榛名神社」など、縁起物が揃った「縁起のいいまち高崎」で生産された食材をふんだんに使ったうんまいものを集め、食べた人の運が開けるようにとの願いを込めて「開運たかさき食堂」と命名しました。昨年4月に大阪で開催された「食博覧会」で初出店し、今年1月の「ふるさと祭り東京」(東京ドーム)や4月の「FOODEXいしかわ」(金沢市)でも来場者に好評でした。

当協会では、今後も高崎の魅力や特色を紹介するために県内外のイベントへ積極的に参加し、高崎の食のブランド化を推進していきます。

▲ふるさと祭り東京2014
(東京ドーム)

▲'13食博覧会・大阪

人情市

ようこそ高崎 人情市

平成26年7月27日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場

平成26年8月24日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場

平成26年9月28日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場

●お問い合わせ：事務局 NPO 法人高崎やる気堂 (高崎市剣崎町1348-1)

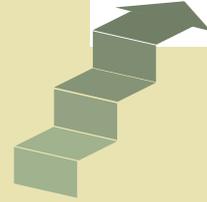
TEL 027-343-5130 FAX 027-340-7067 <http://ninjou.gunmablog.net/>



●06

上信電鉄0番線

日本最古の電気機関車デキも走る



歴史あるローカル私鉄で富岡製糸場へ

●昭和の香りが漂う0番線ホーム

高崎駅西口の名物、階段下の立ち食いスタンドの横から旧1番線ホームに入ると、上信高崎の改札が見えてくる。切符の自動販売機など新しい設備も置かれているが、ローカル線ならではの懐かしい雰囲気にも包まれている。

切符売場の窓口では、厚紙の懐かしい切符「硬券」も売っている。さすがにハサミで切符に切り込みを入れる「入鋏」はなくてスタンプ印だが、駅員さんのいる改札口はとてまあたかい。

●0番線の歴史

上信電鉄は、かつては富岡製糸場や沿線で生産された繭や生糸も輸送し、西群馬の産業を支えた鉄道だ。大手を除き、現存するローカル私鉄として国内2番目の歴史がある。前身の上野鉄道は沿線の物産や日用品を輸送する目的で設立され、明治30年

(1897)に高崎・下仁田間33・7kmが開通した。高崎・上野間の開通から13年後のことだった。

開通当初のレール間隔は高崎線の1,087mmよりも狭い762mmの軽便鉄道で、イギリス製の蒸気機関車が一日7往復運転した。高崎から下仁田まで2時間30分かかった。レール幅が違うために貨物を高崎駅で積み替えなければならず、輸送力増強のためにレール間隔の拡張と電化を進め、大正12年に、県内の私鉄で初めて全線電化となった。レール間隔が国鉄と同じになったことで、高崎駅への乗り入れが実現した。

ホーム番号は駅長室に近い方から付けられるのが慣例で、1番線の手前に上信線ホームができたので0番線になったようだ。鉄道ファンが数えたところによれば、全国に0番線は40カ所しかないそうだ。

●90年間走る日本最古の電気機関車デキ

上信電鉄の名物は日本最古の電気機関車デキだ。90年前の大正13年

(1924)にドイツから3台購入され、そのうち2台が今なお動いている。凸型の車体でファンには「上州のシーラカンス」と親しまれている。デキを見たという要望は多いそうだが、老朽化し、部品も無いために修理が難しく、延命のために残念ながらイベントなどでしかお目にかかれない。

●私鉄沿線の世界遺産は国内初

平成25年12月には上信電鉄オリジナル車両7000形車両が運行開始、上州富岡駅も26年3月に新駅舎となり、富岡製糸場の玄関として生まれ変わっている。

世界遺産登録で脚光を浴びている富岡製糸場は、上信電鉄の上州富岡駅から徒歩で10分。私鉄沿線の世界遺産は国内初、しかも駅から近いので、電車の旅で富岡製糸場に訪れる人が増えている。高崎から上州富岡までは約40分、往復乗車券と富岡製糸場入場券をセットにしたお得な割引乗車券も販売中。また、今秋には南高崎・根小屋間に新駅「佐野のわたし」駅が開設される。